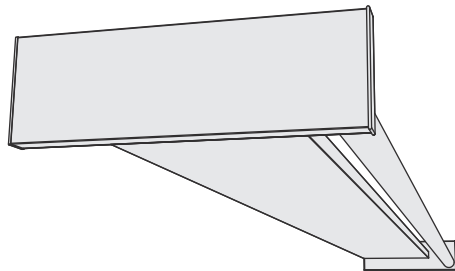


このたびは、室内物干しシェルフ Wally をご購入いただき、ありがとうございました。  
ご使用前にこの取付説明書をよくお読みになり、正しく適切な方法でご使用下さい。

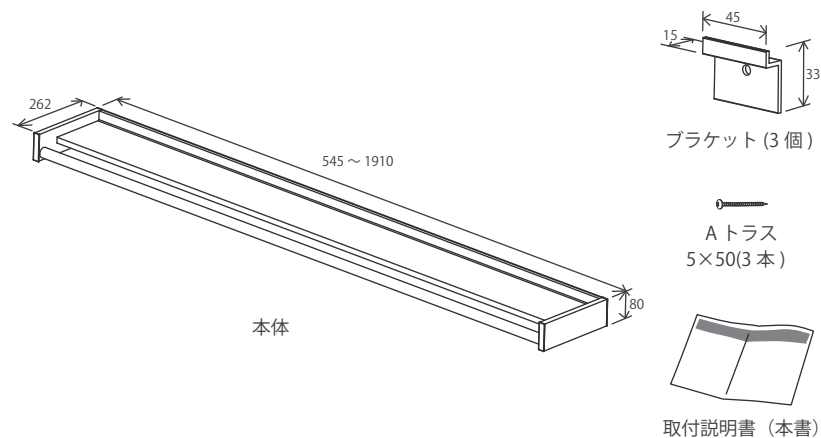
### ⚠ 注意

- ・ブラケットの取付は、必ず木下地に行ってください。
- ・本製品は、室内専用です。室外には取付しないで下さい。
- ・取付高さは床面より1800mm以上の高さに取付して下さい。
- ・本体をブラケットにしっかりとめ込んで下さい。
- ・本体を正しくはめ込むと、わずかに上向きに傾くように設計されていますが、使用上問題はございません。（およそ2～3° 傾くよう設計されています。）
- ・本製品の分解・修理・改造は行わないで下さい。



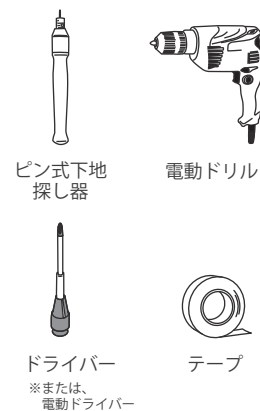
### パッケージ内容

※寸法表記は全て mm(ミリメートル)



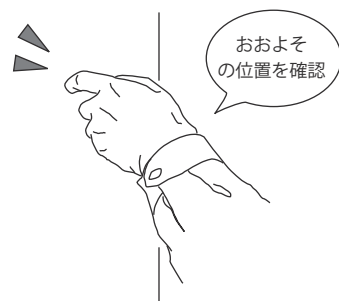
### 必要な工具

※別途お客様で  
ご用意頂く工具類

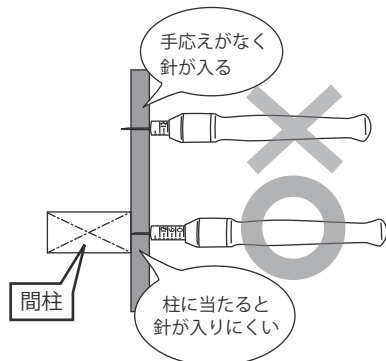


### 1. 木下地 (間柱 まばしら) を探す

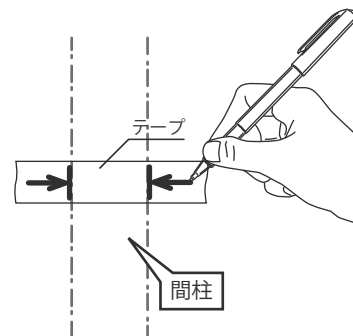
①壁を軽くたたき、音で間柱の位置を確認します。



②次に市販のピン式下地探し器などで正確な位置を確認して下さい。



③テープに正確な間柱の位置を書いて下さい。

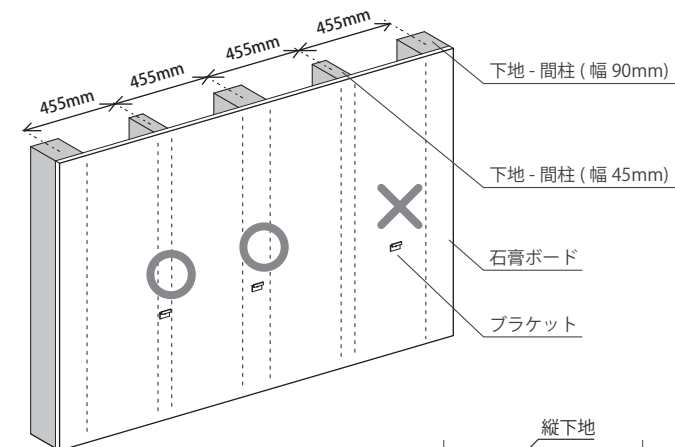


※壁の構造がわからない場合は、工務店や専門業者にご相談下さい。  
※コンパネ 12mm の場合強度不足になります。必ず、柱か間柱に固定して下さい。

### 2. 取付位置と穴あけ位置

※寸法表記は全て mm(ミリメートル)

①取付穴を確認して下さい。



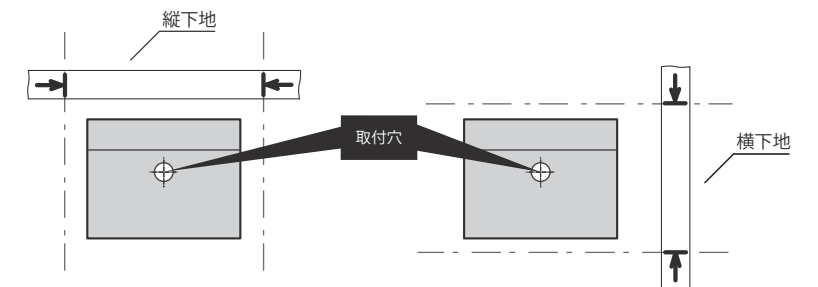
### ⚠ 注意

下地の間隔について

左のイラストは一般的な壁面の構造になっています。

下地の間隔は建築方法や現場によって異なりますので、必ず下地探して下地の位置をご確認下さい。

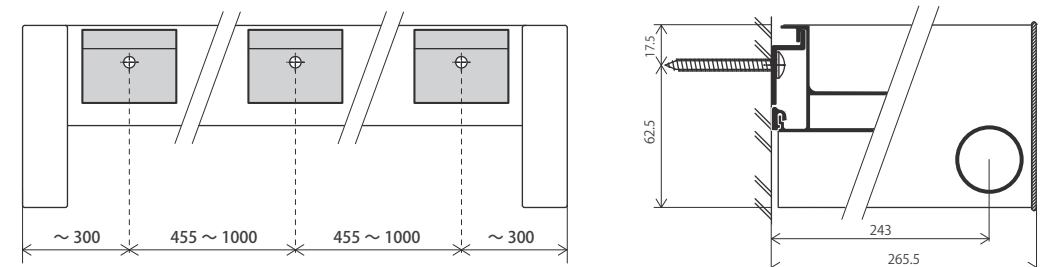
- 一般的な下地間隔
- 一般木軸工法：455mm
- 2×4工法：500mm



②下の図を参考に穴を開ける印を入れて下さい。

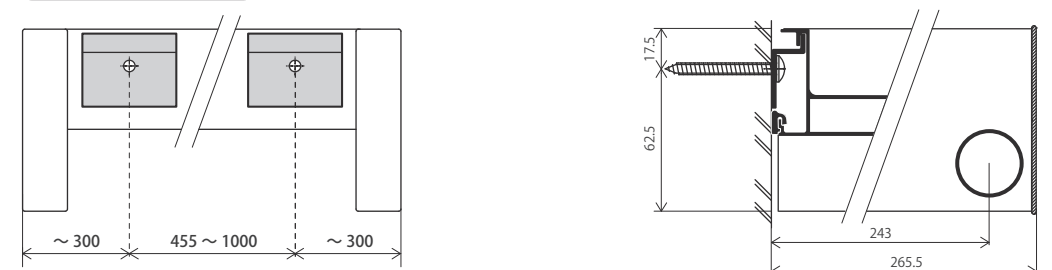
W1056 ~ W1910

※ブラケット必ず3個以上取付して下さい。



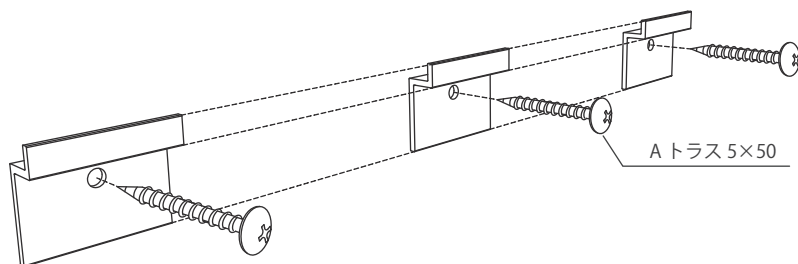
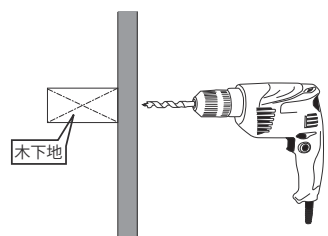
W545 ~ W1055

※ブラケット必ず2個以上取付して下さい。



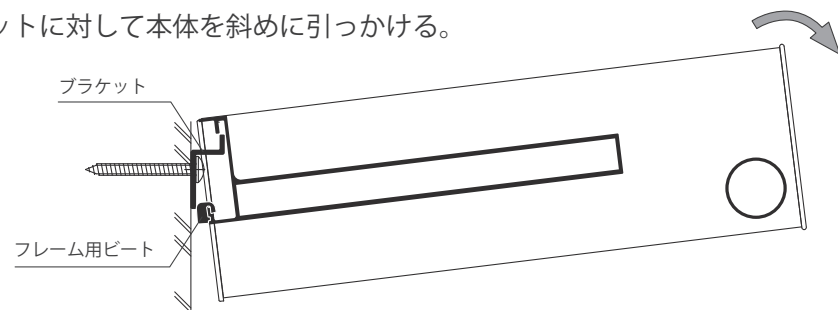
### 3. 壁面の穴あけとブラケットの取付け

木工用ドリルの刃 (Φ4mm) で、深さ 50mmの穴をあけて下さい。

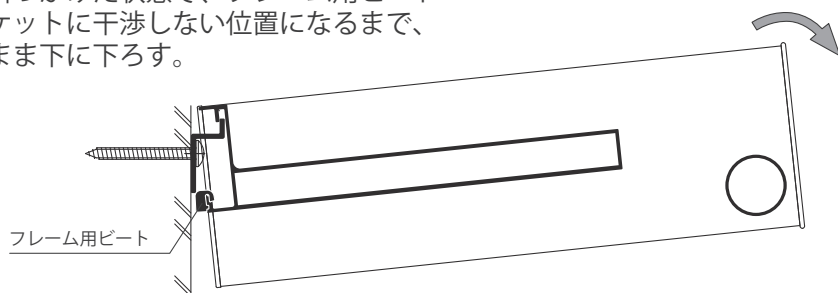


### 4. 本体の取付け

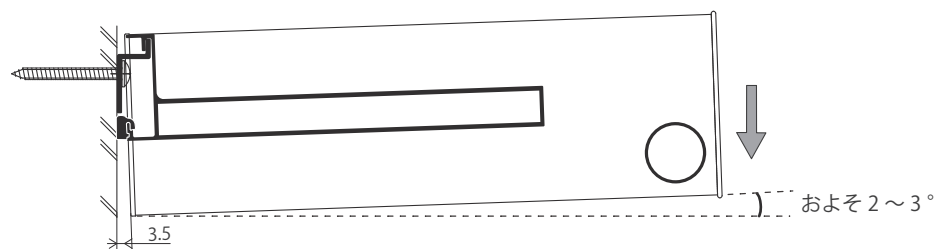
①ブラケットに対して本体を斜めに引っかける。



②斜めに引っかけた状態で、フレーム用ビートがブラケットに干渉しない位置になるまで、斜めのまま下に下ろす。

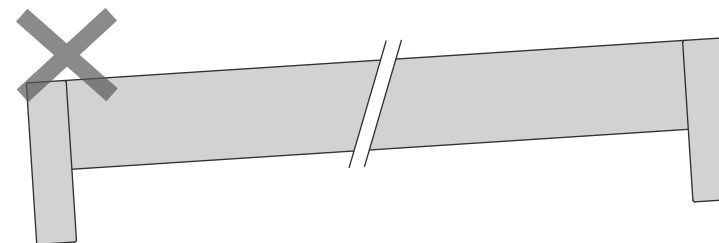


③本体がおよそ 2～3° になるまで下げる。

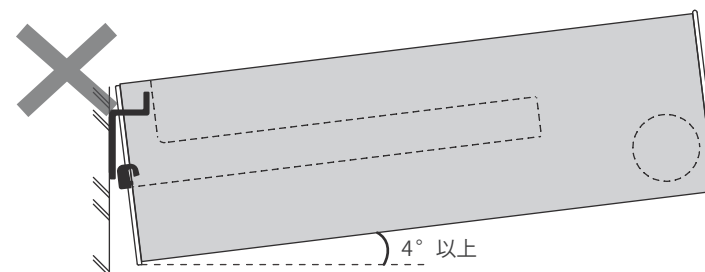


※荷重時に水平を保つよう取付時には少し斜めになるように設計されています。  
※本体と壁には 3.5mm 程度の 隙間があくように設計されています。

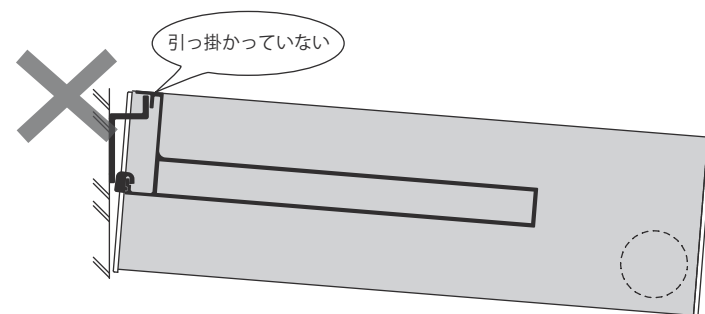
⚠ 注意 本体がブラケットにきっちりとはまっているかどうかを確認



→片側のブラケットにきちんとはまっていない可能性があります。水平になるまで下げて下さい。



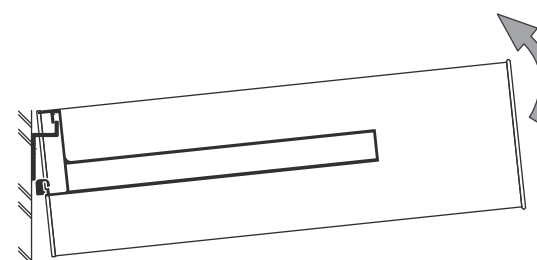
→フレーム用ビートがブラケットに当たっています。もう一度、斜めに向けながら下げて下さい。



→本体がブラケットに引っ掛かっていません。再度、本体を取外してブラケットに引っ掛けて下さい。

### 5. 本体の取り外し

①本体を斜めにしながら押上げる。



②そのまま本体をブラケットから外す。

